

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	ネットワークシステム特論		
英文授業科目名	Topics in Network System Engineering		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	市川 晴久		
居室	西3-306		

公開E-Mail	授業関連Webページ
h.ichikw@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
ネットワークは、ユビキタスコンピューティング、アンビエントインテリジェンスに向かおうとしている。この流れの視点から、インターネットを検証し、インターネットについての理解度を深めると同時に、NGNに代表される次世代インターネット、ポストインターネットの背景をなす課題、技術トレンドへの理解を深め、研究開発の洞察力を高める。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>各種の教科書、資料を引用しながら進めるが、特に下記を多用する。</p> <p>Andrew S. Tanenbaum, "Computer Networks", Fourth Edition, Pearson Education International, ISBN 0-13-038488-7</p> <p>岸上順一監修「RFID教科書 ユビキタス社会に向けた無線ICタグのすべて」アスキー社2005年,ISBN4-7561-4561-2</p> <p>NTTコミュニケーションズ インターネット検定 .COM MASTER ** 2007, ISBN978-4-7571-0209-5 C3055</p> <p>このほか、適宜指定</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

下記の流れで技術とともに事業化の観点も随時とりあげて討議し、技術の理解と創造についてモチベーションが高まるように進める。プリント中心に行う。

1. 新コンピューティングパラダイムへの胎動
2. インターネットについて
 - ・ ネットワーキングのニーズ
 - ・ ネットワークの構成
 - ・ 思想と設計原則
 - ・ アドレス、ドメイン、参照モデル
 - ・ 接続の技術
 - ・ アプリケーションサービスの技術
 - ・ セキュリティ
 - ・ 運用技術
3. 新世代ネットワークについて

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、演習、授業への貢献、試験の成績をもとに評価する。

以下をもって最低達成基準とする：

- ・ インターネットアーキテクチャやプロトコルと、端末としてのコンピュータの性質との関係を具体的に説明できること
- ・ 上記の理解に基づき、無線タグやセンサー端末が主端末となる時代のネットワークアーキテクチャを展望できること

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日午前。メールで事前にアポイントをとること。

【学生へのメッセージ】

これからの通信ネットワーク分野で活躍できるように、自学する力、メタな技術力が得られるように授業を進めたい。インターネットについては常識になっている部分も多いが、次世代技術の観点から課題を取り上げていくので、積極的な授業参加を期待する。

【その他】

なし